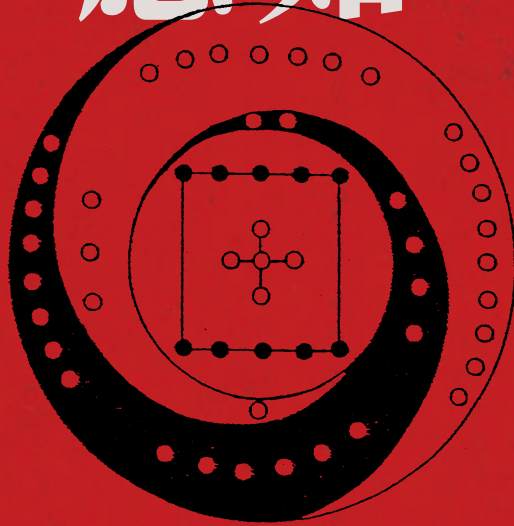


利

# 真如 意應

写真・文 ● しんにょいおう ●

亨



神佛様の意向も  
受け生玉子が  
422日間も  
立ち続けた！



この玉子は  
H15年6月4日に  
立ちましてが  
H16年7月28日  
今日までちょうど  
421日に  
なりました！

玉子は立ってから今日まで  
しう一年間と一ヶ月に過ぎました。  
普通の玉子が一人を長くしが  
電燈以上の成長しを耐えて立  
続けるの現象は今では珍しい

貞

元

# 『Boon-gate』のPDF作品を ご覧いただく前に…

## 操作について

- 作品の多くは「もくじ」のページで、進みたいページの項目を押せば、そのページまでジャンプし、また、ジャンプしたページのタイトルを押せば、目次のページに戻るよう設定しております。
- 直前に開いていたページに戻るには、画面上の「◀」ボタンで、直前に開いていたページに戻ります。

## 読み方いろいろ

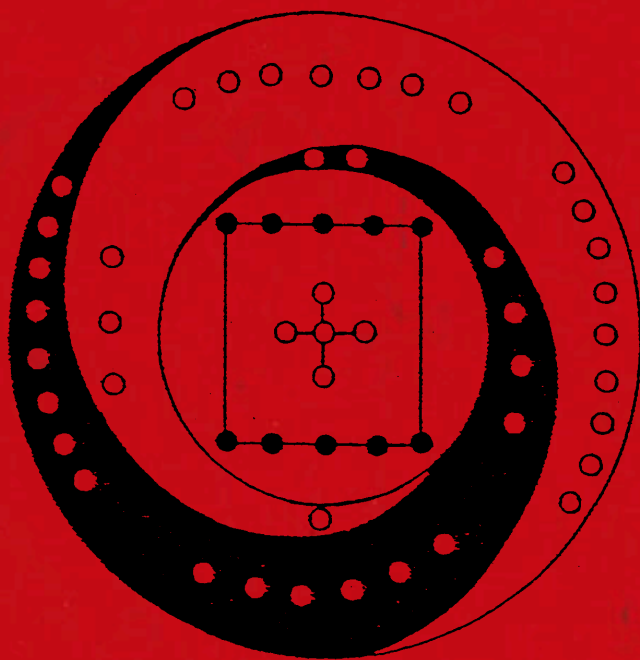
- 通常は画面の「倍率」が100%前後になっていますが、「倍率」を150%まで高めると文字が読みやすい大きさになります。
- 通常は「見開きページ」で設定されていますが、「単一ページ」にすると読みやすく感じます。
- 読み進めるときは、「十字キー」を使用すると手軽です。
- 「サムネイル機能」を使用して読み進めると、2～3頁からとばし読みするのに便利です。
- 頁を「回転」させることが可能です。地図などを拡大して見るときに便利です。

[http://www.bungeisha.com/PDF is/05-top1.html](http://www.bungeisha.com/PDF_is/05-top1.html) でPDF作品についての説明を致しております。ご参照ください。



# 意真 應如

写真・文●しんにょいおう●



神佛様の意向を  
受け生玉子が  
422日間も  
立ち続けた！



#### ※タイトルページ（前ページ）の中央の図の説明

「太極河図」と呼ばれるもので、「元・亨・利・貞」は輪廻、生滅、四季、静動、変化、状態、状況等を表します。

（易）乾：陽、日光、男、父、施し、与える。坤：陰、大地、女、母、受けて、守る等々を表します。陰陽正配、一つの物を産み出し育てること。人の一生は一度、一組の一夫一妻の夫婦になるのが天命です。家族は定められた宿命によってできます。「家族」は自分と因縁でつながっています。人の輪廻の根源であり、因果関係を生じ始める元です。人間修行の源の場所であり、人生のスタート地点です。道徳やルールを学ぶ基であり、すべての出発点が家族であります。

その法則は「健全な家族関係を保つためには健全な夫婦関係は一夫一妻です。それが家族の基本の型なのです」。

## まえがき

神佛様の意向を受けて、生玉子が422日間も立ち続けました！

この度、やむにやまれぬ気持ちで本書を出版しようと思ったのは、神佛様の意を皆様にお知らせしたいと思ったからです。

いま、様々な事情で苦しんでいる人が一人でも多く救われますように心から願っております。生玉子様のおかげで、私はこの貴重な現象を目撃でき、この奇跡を与えられました。その結果として、神佛様と巡り会えたことは大変うれしく、感謝感激で、感無量です。このご恩にはいくら感謝してもし足りないほど感謝いたしております。まことにどうもありがとうございます。

神佛様への御礼とご恩返しとして、神佛様の意を皆様に知らせお伝えするのが私の天命だと思っております。本書でレポートしていることをご覧になられて、この貴重な奇跡を与えてくださった神佛様の意を国や宗教に関係なく皆様が汲み取られ、その意味を正しく理解していただけたら、私としてはこれにすぐる喜びはないと思っております。

同時に、単純ですが重要な宇宙自然の道理をお忘れになりませんように、お願いいたします。

しんによいおう  
真如意應

2006年1月29日（丙戌年、庚寅月、戊午日）

キミヤヒデコ（本名）

## 本書出版のいきさつ——きっかけは神佛菩薩様に巡り会えたことから

きっかけは2003年1月29日(水)午前11時20分頃、<sup>さんせいどうそ</sup>三清道祖様の御宮へお参りしたことでした。

私と主人は<sup>いとこ</sup>従姉の紹介で見合い結婚をしました。ところが、主人は従姉が言っているような人ではありませんでした。主人に騙されていたことは、子供が生まれてから気付きました。主人は内外、表裏が不一致な人で、十数年にわたって私を侮辱することを続け、とうとう私は精神状態がおかしくなっていました。

私は毎日、主人の侮辱に耐えるのが、それはそれはつらく苦しかったのですが、子供のために私は潰されないように我慢し続けました。できるだけ頑張りましたが、いくら頑張っても報われることはありませんでした。

主人は「誰のおかげで暮らしていけると思っているのか」と人を見下した言い方で私を侮辱し続け、私はそれに耐えていましたが、いつしか疲れ果ててしまいました。それで神社へお参りして、どうかやめてくれるよう、主人が自ら反省してくれようように神様にお願いしましたが、一向に変化はありませんでした。

主人はやってきたことを棚に上げて、自分のことを正当化しようとします。私はその卑怯なやり方に一方的にやり込められるばかりでした。その理不尽さに私の我慢も限界を超え、それで心に決めました。しかし、主人がやったのと同じことをやり返したら、家庭がメチャメチャになり、私は二度と神様に会うことができなと思いました。

とにかく、主人とけんかをするにしても、別れるにしても、そうする前に堂々と神様の前で宣言してからにしようと決心しまして、最後のお参りをすることにしました。それで、どこの神社にしようかと迷っているうちに、なぜか三清道祖様を祭っている御宮にお参りしようと思いつきました。それで2003年1月29日(水)午前11時20分頃に三清道祖様の御宮に参拝したわけです。

前殿のところで線香を上げ、三清道祖様の前で、

「私はこれから主人と戦わないといけません。そうしないと潰されてしまいますので、決死の覚悟で、ここへやってきました。私にとって神様にお参りすることが、最後にできることだと思います。大変申し訳ございません。ご庇護<sup>ひご</sup>くださった甲斐もなく、心からお詫びをいたします。何卒どうぞよろしくお願い申し上げます。どうもありがとうございました！」

このように三清道祖様に申し上げた後、御礼<sup>ごらい</sup>をお賽銭箱に入れてから帰ろうと思いましたが、もう二度とお参りすることができませんので、最後の機会だから本殿の前でもお参りしてから帰ろうと思いました。

本殿へ上がると、一人のご婦人がおられました。目が良くないようなので、お線香の火をつけるのを手伝ってさしあげたところ、そのご婦人は「どちらからおいでなされたのですか？ もしよろ

しければ、行事場ぎょうじばの中でも拝むことができますよ」と声をかけてくださいました。

それで行事場の中で拝ませていただいた後、そのご婦人（実は宮主様きゅしゅでした）としばらくお話をさせていただきました。そのとき、宮主様が「3日後の2月1日は旧暦1月1日、旧の正月です。この日は三清道祖様の真ん中の玉清ぎょせい、元始天尊げんしてんそん様の御誕生日です。その前日の1月31日に御誕生日の前夜祭の準備がありますので、手伝ってください」とおっしゃいました。

初対面なのに突然頼まれたので、びっくりしましたが、神様の御誕生日の行事の手伝いをさせていただけるなんて、と本当にうれしかったです。

宮主様は、

「御宮の行事は、

一、旧暦1月1日（旧のお正月、元旦）は真ん中の神様玉清、元始天尊様

二、旧暦2月15日は右側の太清、道德天尊様

三、旧暦8月15日（中秋節）は左側の上清れいほう、靈寶天尊様、三清道祖様

と、それぞれ御誕生日祭りがありまして、ほかに旧暦1月9日は天の神様——三清道祖様を支配するその上の存在です——玉皇高上帝ぎょこうこうじょうてい様の御誕生日祭もございます。

また、この世のすべての魂を祭る慰霊祭もあります。ほかにも行事があります」

とおっしゃいました。

そこで、三清道祖様の行事を手伝うことにしました。手伝い始めて4回目の2003年6月3日（旧暦5月4日）、前夜祭の準備を手伝っているときに、宮主様が「明日6月4日は旧暦5月5日端午の節句の日です。この日の正午12時前後に生玉子を立たせれば立ちます。神様と縁がある人は生玉子が立ってくれます。何日立つかはわかりませんが、立たせてみてください」とおっしゃいました。

初めて聞いた話なので、そのときは半信半疑でした。しかし、その日の手伝いが終わった後、帰りにスーパーへ寄って玉子を買ってきて、翌日6月4日（旧暦5月5日端午の節句）の日の午前11時55分頃に生玉子を立たせてみたところ、アッという間に立ってくれました。あまりにも驚きの出来事でしたので、すぐ生玉子の記念写真を撮りました。本当に、この日は感激でうれしかったです。

生玉子様は次の日も立っていました。3日目、4日目も立っています。そして10日が過ぎて、1ヶ月が過ぎてもまだ立っています。凄い力を持っているものです。生玉子様の写真を撮り続けながら、毎日思わず、「生玉子様、本当によく立っていてくれて、うれしいです。ありがとさん、明日もよろしくね!」と何十回も生玉子様にこのように語りかけておりました。

きっと生玉子様もわかってくださって、喜んでおられることと思います。写真を毎日一枚ずつ撮っていきましたが、立ち始めて2ヶ月を過ぎるというのに、まだ立っています。本当に不思議です。そして4ヶ月、半年が過ぎても、相変わらず立っています。凄い神秘の力に感動しました。それから8ヶ月、10ヶ月、1年が過ぎても、まだまだ頑張っていて立っていました。この間、何回も地震が

ありました。にもかかわらず、しっかりと構えてビクともせず相変わらずに立っている生玉子様を見まして、その神秘さが不思議で、感激し、感無量でした。

普通のスーパーで売っている玉子がこんなに立ってられるなんて、と本当に驚きました。毎日が楽しくてうれしかった。毎回三清道祖様の御宮へお参りして、生玉子様がまだ立っていることを法師様にご報告します。そうすると、法師様は、

「生玉子はまだ立っているの!? 驚きました。初めてだよ、このようなことは聞いたことがない。本当に凄い、普通の生玉子は傷みますから、それで立ってられません。それに地震もありましたのに、何ヶ月以上も立ち続けているというこのような現象は、今まであったことがない。本当に珍しいし、素晴らしいこと。こんな長く立ってられるなんて不可能です。絶対ありえないことだし、とても貴重です。この生玉子様に神佛様の意が入っているからこそ、地震に負けずに長く立ってられるのです。あなた（私）の家に神佛様がいらっしゃるのだから、生玉子様に触らないでね！ 神佛様の意が入っているから、最後は神佛様が<sup>あんばい</sup>案配します。生玉子様がお休みになるまで見守ってあげてくださいね！」

と何回も話して下さったことを、本当に感謝いたしております。

毎日生玉子様の写真を一枚ずつ撮り続けている間に、何回か地震がありました。それに負けずにずっと立っている生玉子様の姿を見まして、凄い力を持っていらっしゃる。この世に地震にも負けずに1年1ヶ月と27日間、合計422日間も長く立ち続けている。立ってられる生玉子様の神秘の力が不思議で仕方ありませんでした。

神佛様がこの奇跡を私にくださったことは、まことに感無量で、感謝の気持ちでいっぱいです。毎日真心を込めて神佛様に何十回も「ありがとうございます」という御礼の言葉を言い続けておりました。私は主人のことでいっそのこと戦おう、という決心を決めてから、神佛様に最後の御宮の参りをしました。三清道祖様の御宮に参ることに決めたのは、すべて神佛様が案配してくれたことだと思っています。

そして神佛様が生玉子を立たせて、それから422日間の間には地震もありました。それでも立っていられたのは、その意味を、この世の人たちに伝えたかったからだと信じております。もし私がここへお参りに来なかったら、生玉子が立つことも知りませんでした。

生玉子を立たせることなど初めて聞いた話でしたが、実際に立たせてみたところ、1年1ヶ月以上、422日間も立ってくれたわけで、まことに感無量でした。生玉子様が422日間も立っているのに、ほこりの<sup>じんあい</sup>塵埃は一つもついていません。真っ白できれいなままです。その下のクロス（布）は黄色になっても、周りはきれいなままだったのが、とても不思議です。

御宮にお参りにきた人が何人か私の自宅で立ち続けている生玉子様を見にきまして、みんなが生玉子様の不思議な力を感じておりました。本当に、こんなにうれしいことはありませんでした。神佛様がこの貴重な現象を私に見せて下さって、まことにありがたいと思いました。心から感謝い

たしております。

主人のことで神佛様と巡り会えたおかげで、気分が軽くなりました。どうやら、私と主人は前世の因果関係で、こうなる運命だったようです。これは私の今世中に、人間修行をしなければならないということです。もし、主人の計画通りに強制的に離婚されたら、この因果関係は来世に持ち越されてしまいます。そして再婚しても運命は変わりませんので、新たな因果関係が生じます。そうしたら、二重、三重の因果関係を今世中に償わないと来世まで背負って、もっと苦しい人生になります。易の先生からそう言われました。

その因果関係というのは、すべての事柄に対してまず貪欲の心念<sup>しんねん</sup>をはじめとして、権力や暴力を振るうこと、利己主義で自由平等をやたらと自己主張すること。親不孝、浮気や不倫、墮胎<sup>だたい</sup>、離婚等<sup>らう</sup>をすること。

人を軽蔑して侮辱すること。人に苦しみや悲しみ、痛みを与えること。人を騙したり、傷つけたり、恨んだり、憎んだりすること。家族の絆<sup>きずな</sup>を大事にしないこと。家族のありがたさに感謝せず、子供に心身の傷を負わせること。物欲に任せて浪費やギャンブルに走り、借金をすること。自らの名誉のために偽善行為をすること。利益のために背信や違反をすること。窃盗、殺人、争い、けんか、恐喝、放火、物を破損したり粗末にすること。

道徳心に欠ける行動をとること。ルールを守らないこと。必要以上に騒音を出すこと。自分の都合で人に悪い気を振り撒くこと。陰湿や偏執の考えを持っていること。人を思いやらず、包容できず、人に奉仕することができないこと、自殺等々……。以上のことが生活上に起こり、誰でも悪い因果関係が生じます。

人間は因果関係のために修行をします。自分で作った因果関係は自ら償わなければならないのです。これは国や宗教に関係なく、この地球上のすべての人間に対して、どんな事柄でも白黒、明暗、善悪のことは見極めて、常に自分の行いを正し、反省し、悟ること。つらく苦しい人間修行に忍耐強く前向きに励み、乗り切ること。明るい清らかな気持ちで、優しい広い心を持って、家族に無償の愛を与え、温かい家庭を作って、社会に貢献し、社会を守っていけるような人間を育てること。

家族の大切さ、大事さ、ありがたさに感謝をすること。そして日常生活の中の自分の行いに関して、あるいは何に対しても常に正心、正念、正言<sup>せいごん</sup>、正行の四正道の宇宙自然道理の法則を守り、天道<sup>てんどう</sup>に従って歩み、広い心で人を包容できるようになること。真心で人に奉仕すること。良い人間修行をして、徳を積んでいけば、あなたの功德<sup>くどく</sup>が上がり、神佛様からも高い評価を得ることができるようになります。

そして因果関係を償って、それ以上因果関係を作らないようにすれば、来世は良い運命になります。私はなぜ生玉子様が422日間も地震に負けずに立っていたのか、その意味、そして神佛様の意を理解するために、中国の易経<sup>えききょう</sup>を習い始めたのです。「易経」というのは、「月日が経つ」という意味です。「易経は人間が生まれた昔、無極、太古、混沌の時期に民心を正し、導くため、ある

いは事柄の占い、状況の判断をするのに用いるために、聖人が作り出した最古の経典、羣經<sup>ぐんぎょう</sup>の首(すべての経典)、文化を先導する、学術や五術の源泉を表す天書」だといいます。そして、宇宙自然道理の法則を読み解き、「すべての事柄を<sup>つかさど</sup>掌る天書」です。

易経はすべての占いの原点となるものです。これを習い始めた頃に先生にこのことを教えていただき、私なりにやってきたことが正しかったと知り、神佛様に救われたのです。それまでは、つらく苦しい日々でしたが、どうにか我慢でき乗り越えられたのは、きっと神佛様が守ってくださっていたからと信じております。毎日無事に過ごせたのも、神佛様が御庇護くださったおかげだと思います。

私は常に目の前のあらゆるものに「この恵みを私にいただけるなんて、まことにうれしく、とてもありがたいです。いつも感謝いたしております。どうもありがとうございます」と感謝しております。一日中、何に対しても、何十回も感謝の言葉を言いますので、自然に余裕を与えられて、一日中いい気分になれます。本当に不思議です。

感謝の言葉を言えば言うほど、うれしく感じます。この気持ちを常に保っております。これこそが、私が苦しい状況を乗り越えられた、明るい気持ちでいられたことの秘訣です。

本当になんでもいい、いま、あなたが目を開けられただけでいい、生かされている自分にその恵みを与えてくれたことに感謝するのです。そうすれば、きっと一日中うれしくなると思います。皆様の周りを見回してみてください。感謝する事柄はなんでもあります。目の前のあらゆる物事はみんな感謝の対象となるのです。

生活の基本からいいますと、人間や生物が生きるために一番大事で大切なのは、きれいな「水」です。水は生命の源と言われます。日常生活の中で、各家庭の蛇口をひねれば水が出てきます。ごく普通で当たり前のことです。しかし、「お金を払っているのだから自由にいくらでも使えばいいのだ」と言って、世界中のどこの国でもそうしてしまったら、あっという間に水は枯渇してしまうでしょう。「水」は天の恵みだということを忘れてはいけません。

水は、この地球上のあらゆる生物にとって、なくてはならない生命の源です。この恵みの水は宇宙から地球に与えられて、年月を経て地下水層を通り、きれいな水になって貯水庫のダムに貯められます。一つのダムを造るにはどのぐらいの労働力と時間や経費がかかっているか、そしてダムから各家庭まで何キロという距離があります。その水道管を作って、埋める工事や蛇口に取りつける様々な部品や道具等の一つずつ作っていく作業等、すべてをそろえるまでの過程は、何百人何千人という人が働いた血や汗の結晶です。

そのすべてを含めて、必要な経費等々の大変さに対して、皆様の感謝の気持ちが薄い、各家庭でただ蛇口をひねるだけで水が出るという便利さが身近にあるからこそ、現代の社会へと発展することができたのです。ダムを造り、これまでのシステムを守ってくれている人に常に感謝の気持ちを持ち、そして蛇口をひねったら、このことを思い出して、天の恵みの水に感謝すること。これは人

間にとって一番目の道德の基本となります。

もし便利に使える水が身近になかったら、皆様はどれほど困って苦しいでしょう。不便で暮らせないと思います。何をするにしても、生きるためにはきれいな水は欠かせません。

私たちが産み育ててくれた先祖様や親たちはみんな水のおかげで元気に働けたからこそ、子孫を育てることができたのです。そして私たちも水の恩恵と親の恩恵を受けているからこそ、生きられるのです。この地球上のすべての生物は、水のおかげで生きていられるのです。

水は常に流れている。この循環作用は生きて、きれいな水を保ちます。きれいな水はすべての事柄を清める力があります。生物は水によって生滅を繰り返すことが宇宙自然の道理なのです。自然の恵み、生命の源の水の大切さを、誰もが守らなければならないという義務があります。常に感謝の気持ちを持って、大切にすることです。

水は生命体です。水自体が生命体超微粒子の波動を持っていますから、生きてきれいな水を保っているのです。水も、人間と同じように「生きている」のです。水はこの地球の「血液」と思えばわかりやすいのではないのでしょうか。生きているきれいな水は、すべての事柄を清めて再生させるのです。生物は水によって生滅するというのが自然の道理です。

この自然の道理は「宇宙輪廻<sup>りんね</sup>」と言います。人間は修行をするために輪廻をします。この輪廻を掌るのが水です。水自体が生命体の超微粒子の波動によって生物の生命を維持しながら、様々な事柄をコンピューターのように記録します。水の「生命体超微粒子波動バロメーターグラフ」というものがあります。人間の体の中に、または魂の中に、このバロメーターグラフがあるのです。

人間の体内にある水分は、水と同じような働きをします。すなわち人間一人ずつの日頃の行いが、思っていること（心）、考えていること（念）、話すこと（言）、行動すること（行）等の事柄のすべてが、その人の体内にある水分の生命体超微粒子波動バロメーターグラフに記録されるのです。

これは因果になるものを記録する元の要素となります。人間は自分以外の事柄に対する心、念、言、行の内容によって因果関係が生じます。生じた因果関係はその人の体内にある水分の生命体超微粒子波動バロメーターグラフに記録されます。その人の日頃の行いによって、因果関係や徳積み等の功罪の有無がわかります。その人の霊光体の魂の色彩が決まり、その人の輪廻する状態が見られます。

誰でも生まれによって年、月、日、時の4柱の干支を持っています。この4柱の干支の中に、あなたの前世と今世の運命と因果関係、徳積み等の功罪の有無、または仕事や健康状態のほか、いろいろな事柄が表されています。あなたが生まれる前に、魂の生命体超微粒子波動バロメーターグラフに記録された、あなたの前世の因果関係、徳積み等の功罪の有無が神佛様によって裁量され、その罪を償うことが、あなたが生まれてくる今世の運命となります。

次の来世の運命は今世中にあなたがどういうふう人間修行をしたのか、その因果関係、徳積み等の功罪の有無が、神佛様によって裁量されて、また罪を償ってから、あなたの来世の運命が決ま

るのです。しかし、神佛様に裁量され、在世中に犯した罪の重さに対して、苦しくつらい天罰を受けることと、それに耐える覚悟が必要であることを忘れてはなりません。そうして生じた因果関係を断ち切るには、何回輪廻しても終わらない場合もあることを覚えておきましょう。

因果関係は人間修行をすることによって生じるものであり、悪い因果関係が生じるのを避けられないときもあります。いつも自己反省をすることです。日頃の行いを反省し、常に自分の心の中に心、念、言、行を正すことができれば、あなたの体内にある水分の生命体超微粒子波動バロメータグラフの記録が変わります。それで救われることになります。

人間修行の源の基本といいますと、それは「家族」です。家族はあなたと因縁、因果関係でつながっています。人が輪廻する根元が家族です。まさに人間修行の源の場となります。人間は誰でも因果関係によって巡り会い、その功罪を償うために、その家族のところに生まれてくるのです。そこからまた、新たな因果関係が生じ始めるのです。長い人間修行の始まりであり、あなたの人生はそこからスタートします。そして最後は家族の一員として、この世から滅するのです。

人は誰でも前世の因果関係の功罪があります。因果関係を償うために結婚します。人は人間修行として家族を持ちます。そして子供を産み、育てます。これは自分の魂が成仏できるように、人間修行をした証しとして子孫を作り、残すことです。それと自分の魂の色彩を良くして、上の層へ昇れるよう、功德を積むことも大切です。

人は因果関係によって知り合います。一緒にいるのも、結婚するのも、因果関係があるからであり、因果を償うためにつらく苦しい人間修行をするのです。人はそれぞれ背負っている因果関係が違いますが、今の人は国や宗教に関係なく、あまりにも因果と輪廻があることを信じていない、あるいはあるわけがないと決めつけているため、互いに苦しめ合い、痛めつけ合うことになっているのです。

物事の白黒、明暗、善悪を見極めることなく、心や念、言や行が乱れて、安易に人を騙したり侮辱をしたり、あるいは夫婦の絆や相手の立場を尊重せず、自分の都合で行動しています。それは「浮気や不倫をする」「淫らな異性関係の結果としての墮胎をする」「権力・財力・強者の立場を利用して暴力を振るう」「自由平等を振りかざし、利己主義で自己主張をする」「家族の大切さ・大事さ・ありがたさに感謝せず、大切な家族に無償の愛を与えられず、無責任であるために子供に心身の傷を負わせる」「自分も親になるかもしれないのに親孝行ができず、人を包容できず、真心で人に奉仕しない」「働かないで物欲に走り、浪費をする」「ギャンブルで借金して親や家族を苦しめる」……等々の因果関係を生じさせます。

自ら生じさせた因果関係は、その人の体内にある水分の生命体超微粒子波動バロメータグラフに記録されます。記録された因果関係は、その人が亡くなった後の魂が人間修行中に生じた因果関係や徳積み等の功罪の有無とともに神佛様に伝えられ、神佛様によって裁量されます。そうして、自ら犯した罪に対しての天罰が与えられるわけです。

逆に良い人間修行があれば、上の層へ昇れます。しかし、この因果関係と行いの功罪は人間修行であることを信じていない人は、因果関係が生じても自らを正すことはせず、反省できず、悟れず、またこれらを正当化します。そういう人は家庭や社会の崩壊という結果を招きます。そうすると、自分にとって大事な家族の絆を自分の意思ですべて壊すことになります。家族は離れ、離婚をすることにもなります。

誰でも離婚したければ、その人の都合でできます。今は自分の都合で離婚、再婚、略奪婚をする例が増えています。性格の不一致とか、自由になりたいから……等の身勝手な都合を主張して、結婚しなかったり、離婚する人は、人間修行としての結婚をする資格はない欠陥人間ではないかと私は思っています。自分の都合を通し、道徳心が欠けていて、家族のルールが守れないために、家族や親に苦しみや悲しみを与えて、家庭や社会にとって大事な存在である子供の心までも傷付けます。その結果、怨念の因果関係を増やし、親の身勝手な行いや悪さにより、離婚、再婚、略奪婚、異性関係の乱れ等を招くことは、一つの人生の中に何重もの因果関係を生じさせることになるのです。

自ら犯した罪に対しては、今世中に償わないと来世まで背負ってしまいます。そうなったら何回輪廻して修行をしても、因果関係を断ち切ることはできません。来世の運命もひどく苦しいものになります。人間は修行をするために生まれてきたのです。そして自分の魂が成仏できるように、また上の層へ昇れるように人間修行として家族を持ち、そのために結婚をし、子供を産んで育てるのです。もちろん、つらく苦しいこともあるでしょう。でも、それは人間修行だから仕方がないのです。

子供たちが社会に対して貢献できるよう、親としては立派に育てなくてなりません。それが重大な任務なのです。これは神佛様から人間一人一人に平等に与えられた宿命です。人は因果関係によって男女とも、知らない同士、性格不一致であっても家族になるために相手と巡り会います。そして、ときにはつらく苦しい人間修行をすることもあります。それが結婚の意味なのです。互いの因果関係を償うために一緒に暮らすのが運命なのです。

しかし、月日が経って、互いに相手の欠点を批判するばかりで、互いに自分を正すことをせず、反省もせず、悟れずに相手の立場を無視して見下したり、侮辱をする等、家族の絆やありがたさを無情に扱うこと。浮気や不倫をして淫らな異性関係の結果としての墮胎をすること。物欲や浪費に走って借金をして、家族に苦しみを与えたり、子供に心身の傷を負わせたりすること。そうしたことをすることによる家族関係の乱れは、道徳の基本の家族のルールや夫婦の立場と絆を尊重しないから、深い因果関係を生じさせるのです。

健全な家族は健全な夫婦関係から、です。親の行いが健全でないと健全な子供を育てることはできません。今の社会は人の心や念、言や行が乱れて、人間性を失っているのです。今、どこの国でも争い、犯罪、残虐な事件や不祥事等々の事件が後を絶たないといわれます。

いつの時代にも、場所はどこであっても、原点はすべて家庭にあるのです。親の行いが健全では

なかったり、良くなかったりすると、子供が自分の親を尊敬できなくなり、その子供たちは社会に出ても親と同じように、道徳心に欠け、ルールや法則が守れなくなります。子供も親と同じように安易な行いをするようになります。その悪い影響の繰り返しで新たな深い因果関係が生じて、人間性を失っていき、その結果として、今のような社会となったのです。

この因果を断ち切るには、自分で作った因果関係は自ら償って解消していくしか方法はありません。どのようにしたら、人間修行の責任の重大さ、大事さに皆様が早く悟れるのか。私はそれを考え続けていますし、そうできるよう心から願っております。とにかく、まず大事なものは、因果関係と輪廻のことをもっと認識することです。

人には貴賤<sup>きせん</sup>、貧富、優劣等の運命があります。この巡り合わせの結婚は人間修行をすることと前世の因果関係を償うためにあります。誰でも平等に神佛様からこの運命を与えられており、これは身分に関係なくどんなに地位や財産、権力があっても、一国の王でも巨万の富を築いた人や強者等は、複数の配偶者を持ち、道徳の基本の家族のルールを守っていません。そうすると、自分の欲望を満たすために家族の関係が乱れる結果を招きます。

家族以外の関係を持つと新たな因果関係が生じます。それは家族同士やほかの人間関係においてそれぞれ自分のために権力、地位、財産、名誉等を求めることになり、その結果として争い、けんか、恨み、憎しみを生み、傷付け合ったりするからです。最悪の場合には互いに殺し合いになるケースもあるでしょう。そうして数多くの犠牲や苦しみ、悲しみ、痛みが増え、さらに悪い因果関係を生じさせていきます。ですから人は身分や権力、財力等、国や宗教に関係なく、人間修行の基本の道徳に従い、家族のルールを守っていれば、悪い因果関係が解消できるのです。

易では、乾は「陽、男、父、日光、施し、与える」等を表し、坤は「陰、女、母、大地、受けて、守る」等を表します。陰陽正配、統合し、一つの物を産み出し育てる。人の一生は一度、一組の一夫一妻の夫婦になるのが天命です。家族は定められた宿命によってできます。「家族」は自分と因縁でつながっています。人の輪廻の根源、因果関係を生じ始める元であり、人間修行の源<sup>みなもと</sup>の場所です。人生のスタート地点であり、道徳やルールを学ぶ基、すべての出発点が家族であります。

その法則は「健全な家族関係を保つための健全な夫婦関係は一夫一妻です」。これは本書の教えの主旨であり、最も重要な点です。それが苦しい因果関係を増やさないために神佛様から与えられた家族の基本の型なのです。

人間修行中の行いが良くないと因果関係も深くなるほか、自分の魂の霊光体の色彩が褪せて、魂の生命体超微粒子の波動は弱くなり、魂は生まれる前にいた元神の層へ戻れなくなります。魂が一つ上の層に昇るにはつらく苦しい人間修行を忍耐強く前向きに貫くことが必要であり、常に自分を正し、反省して、悟るべきなのです。家族を愛し、人を包容でき、人に奉仕して恵みを大事にすること。

何に対しても感謝の心を持ち、日頃の行いは常に正心、正念、正言、正行の四正道の宇宙自然道

理の法則の天道に従ってなすことです。そして功德くどくを積み、神佛様からの評価も高くなります。そうすれば自分の魂の色彩も良くなり、上の層へ昇ることもできて、命格も高くなります。もし在世中に人間修行をした証しとしての子孫がない場合は、養子をもって育てる。そうすれば、自分の子孫があることが神佛様に報告できます。

しかし、結婚しない人は人間修行した証しとしての子孫がないため、自分の魂を成仏させるには神佛様に対するお詫びとして出家をする方法もあります。人間修行した証しとしての子孫を絶やさないことが、自分の魂を成仏させることです。

私は主人のことでとても苦しめられ、悩んだ末に心に決め、最後の御宮参りをしました。そのときの心境を三清道祖様の前で述べているときに神佛様が私に「もう、我慢し続ける必要はありません」ということで、神佛様が私を宮主様に会わせてくださったに違いありません。そして行事の手伝いをしたのも、私に生玉子を立たせるためだったのでしょうか。なぜ地震に負けずに生玉子様が422日間も立っていたのか。その意味と神佛様の意を世の皆様知らせ、伝えるためであり、それはすべて神佛様が案配したものだと思います。

私は三清道祖様の御宮の行事を手伝いはじめてから4回目の手伝いのとき——2003年6月3日（旧暦5月4日）の前夜祭の準備をしているとき——に宮主様から生玉子が立つことを教えていただき、その日の手伝いが終わった後にスーパーで玉子を買ってきて、翌日の6月4日（旧暦5月5日）端午の節句の日の午前11時55分頃、生玉子を立たせてみました。

そうしたら、それから2004年7月29日（旧暦6月13日）まで、なんと1年間1ヶ月と27日間にわたって、合計422日間も地震に負けずに、生玉子様は立ち続けたのです。生玉子様の力強さ、その凄さに驚き、神秘の力を持っている生玉子様に感無量の気持ちを抱きました。

生玉子様は422日間も立っているのに、塵埃は一つもついていませんでした。真っ白で綺麗なままだったのですから、とても不思議なことです。

生玉子様がお役目を終えて休みに入った日は2004年7月29日（旧暦6月13日）です。この日の朝に車を洗淨した後、数日前に宮主様からいただいたれいし楊枝を賞味した後、その種を水に浸したら芽が出始めたので、10時半頃にその種を庭に植えました。そうしたら、しばらくして生玉子様のところからチャリンという音が聞こえました。しかし、そのときは特に気にしませんでした。

11時過ぎに生玉子様がもう役目を終えて休んでいる姿を見まして、10時半から11時の間にチャリンという音がしたのは生玉子様が「もう、休みますよ！」とおっしゃっている合図だとわかりました。私に聞こえるように生玉子様が音を立てて知らせてくれたのです。思わず、叫んでしまいました。「生玉子様！ 今日まで422日間も、長い間地震にも負けずによく頑張ってお立ち続けてくださいました。まことに御苦労様でした！ 422日間も立ってられるなんて、まことに感激で感無量でした！ 生玉子様のおかげで毎日楽しく過ごせましたし、うれしかった。まことに感謝いたしております。長い間まことにありがとうございました!!」

こうして生玉子様に御礼の挨拶をしてから、最後の写真を撮りました。その後、生玉子様が休みに入ったことを宮主様に伝えるため、「これから休みに入った生玉子様を御宮へ連れていきます！」と連絡しました。それから神佛様に御礼をするための御供え物を買った後、そのまま三清道祖様の御宮へ向かいました。すると、その途中で雨が降り出しました。

徐々に雨が強くなり、次第に大雨になって、御宮に近づけば近づくほど雨の勢いが増してきます。ついに激しい雨になって雷も鳴っています。もの凄く勢いよく雨が降り続けています。一瞬のうちに道路が川のようになり、大水が流れています。まるで水上車のように、雨の勢いで車の前方がほとんど見えない状態でした。

激しい雨の中でしたが、スピードを落として走りながら、やっと御宮に着きました。雨の勢いは衰えずに激しく降り続けています。しばらく車の中で待ちましたが雨は弱くならず、仕方なく大雨の中で生玉子様を抱えて御供え物を持ち、川のようになった道を渡って御宮の中に入りました。

それから約5分後、あんなに勢いよく激しく降っていた雨が急にピタッとやみました。空が晴れて太陽が出てきました。なんとも不思議な空模様でした。あまりにも計算された夕立でしたので、とてもおもしろかったです。まるで水神様が出迎えに来てくれたような雨でした。縁起の良い日だったのだなあと感じました。

生玉子様が休みに入った2004年7月29日、旧暦6月13日の干支は己酉つちのととんきゅうです。己酉の意味は易经から解説すると、己は何でも包容できる、何にでも奉仕する、広い大地、潤う平原、物を育てる、広大な平地、すなわち、この地球のことという意味を示します。酉は西方、夕日、仏教、秋、実り、収穫、成果達成、仏様、安心、熟した果実等のことを表します。

酉の生玉子様は熟した果実のように木の上から己の大地の上に降りてくる前に、私が植えた種と役目を代わって、酉の生玉子様から酉の種になって、酉の役目が種に引き継がれたので、生玉子様はもう役目を終えたのでしょうか。その瞬間、チャリンという音を立てることで、「もう休みますよ！」と私に知らせてくださいました。そして酉の役目を引き継いだ種は、己土きどの中で育てられて、新たな生命が生まれ、大きな木になって果実を結ぶのです。

結んだ実が熟して、また己土の大地の上に降りてきて、己土の中でまた育てられて新たな生命が誕生して、大きい木になってまた実を結ぶ……同じようことを永遠に繰り返していることはこの地球上の生物の生滅を表しているのです。

「己酉しゅうの象は一つの生命が終わって剥落はくらくするの象です。人は仏様になって己土に還る。そしてまた新たに生まれ変わってきます」という意味です。この繰り返しを輪廻とといいます。

生玉子様が休みに入った7月29日に降った大雨は、この地球上の生物にとって生命の源の水です。水は生物の生命を維持しながら、生物の生体の中にある水分の生命体超微粒子波動バロメーターグラフがコンピューターのように様々な事柄を記録します。この記録を掌るのが水です。水は一つの役目が終わるといったん清めてから再生させます。つまり、すべての事柄を清める力があるわけで

す。この地球の空、大地、海を清めることを三清といいます。雨、水は三清道祖様の象です。

酉は命と魂、人間と仏、生滅と輪廻を表します。水は人間の心、念、言、行の行いによって生じた因果関係を記録し、すべての生物の生命を支配します。すべての事柄を清めて再生させる生物の生滅の輪廻を掌るということは、宇宙の自然の道理です。私が立たせた生玉子様に、神佛様の意の現象がこのように表れているため、生玉子様は地震にも負けずに422日間も長く立っていられたのです。

神佛様は私に、この意味を国や宗教に関係なくこの地球上の皆様には知らせ伝えるように望んでおられます。今の世の中では人間性が失われています。互いに争って、けんか、殺人や様々な残虐事件、不祥事、国と国の戦争……等のことが後を絶たず、世界中いたるところで起きています。

無駄な犠牲を払い、その悲惨さに直面しても、人の心を正すことができず、悟ることができないようです。また自分が何を考え、何を思っているかは他人から見てもわかりません。だからといって、何をやっても誰も見ていないし、知らないから証拠にならないと簡単に思ってしまうのですが、それは大間違いです。その人の心、念、言、行は、その人の行いによって自らその証拠を自分の体内にある水分の生命体超微粒子波動バロメータグラフに記録しているのです。自ら記録した自分の行いの功罪は、前述の通り神佛様によって裁量されます。そして犯した罪に対して生じた因果関係と人間修行中の功德積みの有無等により、輪廻する運命が違ってきます。

誰でも生まれた瞬間に年、月、日、時の4柱の干支が決まります、この4柱の干支の意味は宇宙自然道理の法則を表しています。したがってこの宇宙自然道理の法則は天道です。正心、正念、正言、正行の四正道は人が人間修行する際の法則です。人が人間世界に生まれてくるのは因果関係を償うためであり、つらく苦しい人間修行をしながら天道に従うことと功德を積まなくてはなりません。そのように人の運命は定められております。

国や宗教に関係なく、この地球上に生まれてきた人は誰でも自分が生まれたときの年、月、日、時の4柱の干支にそれぞれ意味があります。この意味はその人の運命と運勢を表すのです。

干支で示されている意味はすべて易経で読み解くことができます。人は宇宙自然道理の法則の天道に従って人間修行をすれば、神佛様に救われます。その人の行いは人間修行の法則の天道に従っているかどうか、その人の体の中にある水分の生命体超微粒子波動バロメータグラフに記録したもから見出せません。その人の心、念、言、行という証拠は記録されることを忘れてはなりません。

人は生きている間に因果関係の罪を償わないと、来世まで背負ってさらに因果関係が深くなりますので、自分の魂の色彩が褪せてしまいます。そうすると、魂の生命体超微粒子の波動も弱くなり、魂が生まれる前の元神のところへ戻れなくなります。そうすると、来世はもっと苦しくなるので、そのようにならないために自ら生じた因果関係を自ら償うしかありません。

神佛様としては人間たちにこれ以上戦争を起こさせてはならないし、残虐な事件による無駄な犠牲者をこれ以上生み出さないよう、争いや不祥事はこれ以上増やさないように望んでおられます。

それらをこの地球上の各国の指導者や権力者、世界中の人たちに、宗教に関係なく、人の因果関係と輪廻することを認識して感じてほしいと思っているのです。

一日も早く皆様が自らの行いを正して、反省し、悟り、功德を積むこと。宇宙自然道理の法則の天道に従って生きるようにすることです。なぜ生玉子様が422日間も地震に負けずに長く立っていたか。それは神佛様の意を世の皆様知らせ伝えるためだったのです。神佛様が私に生玉子様を立たせるためのきっかけを作ってくれたのは、つらく苦しい人間修行に耐え切れずにいた私が、最後は必ずこの地球の「生命の源の水」で、生物の生滅を掌り、すべての事柄を清めて再生させ、生物の生滅を支配し、この地球の空、大地、海を清めてくださる「三清道祖様」のところへお参りするよう、その決心をくださるといふ「奇跡」に私が巡り会えるようにするためだと気付きました。

神佛様からこの世にない貴重な現象を私に与えていただいたので、私は感激し、感無量で、感謝の気持ちでいっぱいです。この奇跡を私に与えてくださった神佛様への感謝の気持ちを感じ、御礼と御恩返しとして、神佛様の意が入って422日間も地震にも負けずに立ち続けていた生玉子様の写真を、皆様にご覧いただくために出版することにしました。なぜ生玉子様が422日間も立っていたのか。その意味を皆様に知らせ伝えたいと思ったのです。

生玉子様は2003年6月4日（旧暦5月5日）端午の節句の日の午前11時55分頃に立ち始めてから、2004年7月29日（旧暦6月13日）午前10時半～11時まで、1年間1ヶ月と27日間、合計422日間、長い間地震にも負けずに立ち続けてきました。生玉子様の立っている貴重な現象を記録として残すために、毎日一枚ずつ写真を撮り続けてきました。その生玉子様の写真はぶ厚い一冊のアルバムになりました。

この珍しい貴重な現象である生玉子様の写真を私だけが拝見するのでは申し訳ないと思ひまして、皆様にもこのうれしいことを分けてさしあげたい気持ちでしたので、皆様が神佛様の意が入っている生玉子様の写真をご覧になれるよう、私と同じように神佛様の御力を楽しくいただけたらよろしいかなと思ひまして、本書を出版することにしました。

私に以上述べたような貴重な現象を与えてくださった神佛様に感謝いたします。

だい  
大

ひ  
悲

じゅ  
咒

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
マ パ ナ ー ヤ ス ウ ー ハ ー	イ テ イ ミ リ チ テ イ ツ ハ ラ	ク ス メ ク ス マ ワ ー レ ー	プ ラ チ ヤ ー レ プ ラ チ ヤ ー レ	イ テ イ ウ エ ー イ テ イ チ ヤ ー レ チ ヤ ー レ	テ イ リ リ ー リ ト ウ ル ト ウ ー ル	タ ー リ ヤ ー タ ー オ ン タ ラ タ ー ラ	マ ハ サ ト ワ ヤ マ ハ カ ル ニ カ ヤ ー	シ ユ ワ ヤ ー プ テ イ サ ト ワ ヤ ー	ナ ム ア リ ヤ ア ワ ル ケ テ	サ ン ム ヤ ー サ ン ム プ テ ペ	ナ ム サ ル ワ タ タ カ テ ペ ー ア ラ ハ タ ペ	タ タ カ タ ヤ ア ラ ハ ー テ サ ン ム ヤ サ ン ム プ タ ヤ	サ ー カ ー ラ ペ ロ チ ヤ ー ナ ー ユ ハ ラ チ ヤ ー ヤ ー	ナ ム ナ ン ダ タ ラ ヤ ー ヤ ー ナ ム ア リ ヤ チ ヤ ー ナ ー

大悲咒はすべての魂を成仏させるために神佛様のところへ導くための咒文です。魂はこの咒文に導かれて神佛様のところへ帰っていきます。魂が成仏するように祈りましょう。

## だいひじゅ 大悲咒の唱え方

だいひじゅ  
大悲咒を唱える方々に申し上げます。

大悲咒はすべての魂（霊）を神佛様のところへ、帰着させるための導きの呪文です（「呪文」は人が災いを避けるために神様にお祈りをする言葉〔陽〕であり、「呪文」は人に災いを下すように呪いをかけて祈る言葉〔陰〕なので、注意してください）。

魂を神佛様のところへ帰着させるには、国や宗教に関係なく誰でもこの大悲咒を唱える必要があります。大悲咒は真心を込め、時計の文字盤のように12回をワンセットにして唱えます。唱えるときは清潔で静かな場所を選び、神佛様のところへ帰れずに迷っている魂が、神佛様のところへ無事に帰着できるように、真心を込めて唱えてあげましょう。

神佛様に良い導きをいただくには、神佛様のところへ帰らずに人間にまとわりついているような悪い魂が、神佛様のところへ帰着できるように、大悲咒を唱えてあげるのがよいのです。迷える魂が成仏して神佛様のところに無事帰れるよう、皆が真心を込めて大悲咒を唱えるようにすると、唱えてさしあげた方の功德も上がります。

人を深く恨むと、魔物と同じになります。人に災いが下されるように呪いをかけて祈ると、さらに因果関係が深くなり、呪いをかけた人の命が危うくなりますし、さらに苦しむのです。

つまり、神佛様が大事な命と苦しんでいる魂を成仏させると同時に人間の行いを正すために、国や宗教に関係なく、大悲咒を唱える必要があるのです。

2006（平成18）年5月5日の夜に座禅をしたところ、体が前後に激しく揺れた後、手が自然にゆっくり動いて、これから紹介する6つのポーズをとった後、静かに終わりました。

地球上の皆様が天道に従って道徳を守れば、皆が平和に暮らせませす。そして因果関係もなくなり、厳しい人間修行を貫いた人が神佛様の位にもなれるのです。

ポイントは、

- ◎真心で天道に従う
- ◎道徳を守る
- ◎平和に

です。

座禅が終わった後、神佛様に教えていただいた通りにすぐに図を書いて、その意味を書き添えました（この日、就寝したのは結局6日の午前2時前でした）。

※老若、障害の有無に関係なく、大悲咒を声に出して手順の通りに唱えるのが一番いいのですが、

障害等があって声が出せないときには心の中に大悲咒を唱えながら、図の手順に従って行っても大丈夫です。そのために神佛様が手順を教えてくださいましたのです。

### ①菩薩様

※真心で（心がすべてといたします。すべての事柄は心から始まるのです。心はすべてを導く）

大悲咒を唱えながら21ページのイラスト①のようなポーズをする。左手の親指と人差し指で円を作って、他の指は伸ばして胸の中央の上に。右手のひらは前に向ける。①は⑥のポーズから両手を引き伸ばして始めること。大悲咒を唱えながら、①～⑥のポーズを12回繰り返す。①～⑥の動作はすべて左手（先天、神佛様、前世）で行ってから、右手（後天、人間界、今世）で行うという順番になっています。

#### 大悲咒①

「ナム ナンダ タラ ヤーヤー ナム アリヤチャーナー サーカーラ ペロチャーナー  
ユハラ チャーヤー タタカタヤ」

### ②宇宙を主宰し、支配する天の神・玉皇高上帝様

※天道に（自然道理の法則：天道）

人間修行をする際は宇宙自然道理の法則という天道に従うべきである。左手のこぶしを握り、人差し指は天に向けて指す。右手は胸の中央に置き、親指と中指で円の形にする。玉皇高上帝様は宇宙を主宰し、「空、大地、海を清める」三清道祖神様を支配する。

#### 大悲咒②

「アラハーテ サンムヤ サンムプタヤ ナムサルウ タタカテペー アラ ハタペ サンム  
ヤー サンムプテペ」

### ③無病息災・薬師如来様

※従う（無病息災は天道に従うことでもたらされる）

左手のひらを前に向け、自分の心に従っていることを示す。右手は胸の中央に置き、手のひらを上に向ける。指は伸ばして平らに。

#### 大悲咒③

「ナム アリヤ アワ ルケテ シュワヤー プティ サトワヤー マハ サトワヤ マハ  
カルニカヤー」

#### ④ 道徳を導き、因果関係を説く道徳の神・三清道祖：太清・道徳天尊様

※道徳を（人が人間修行中に、道徳に反した行いをする、因果関係が生じる）

（易）乾：陽、男、父、日光、施し、与える等を表す。坤：陰、女、母、大地、受けて、守る等を表す。陰陽正配・統合し、一つの物を産み出し、育てる。

人の一生は一度、一組、一夫一妻の夫婦になるのが天命。家族は定められた宿命によってできる。「家族」は自分と因縁でつながっている。人の輪廻の根源、因果関係を生じ始める元、人間修行の源の場所、人生のスタート地点、道徳やルールを学ぶ出発点が家族である。

左手のこぶしを握りながら人差し指を天（天道）に向けて指してから、右手の親指と中指を円にし、他の指を伸ばす。

大悲咒④

「ターリヤー ターオン タラ ターラ ティリリーリ トウル トウール」

#### ⑤ すべての魂が帰着するところ・<sup>かんぜおん</sup>観世音菩薩様

※守る（宇宙自然道理の天道に従い、道徳を守っている魂はスムーズに観世音菩薩様のところへ帰れる）

両手で合掌する。祈り、守る印である。世の魂が神佛様のところに帰着するように、そして成仏するように祈る。

大悲咒⑤

「イティウエー イティ チャーレ チャーレ プラ チャーレ プラ チャーレ クスマ  
クスマ」

#### ⑥ 宇宙・神佛様

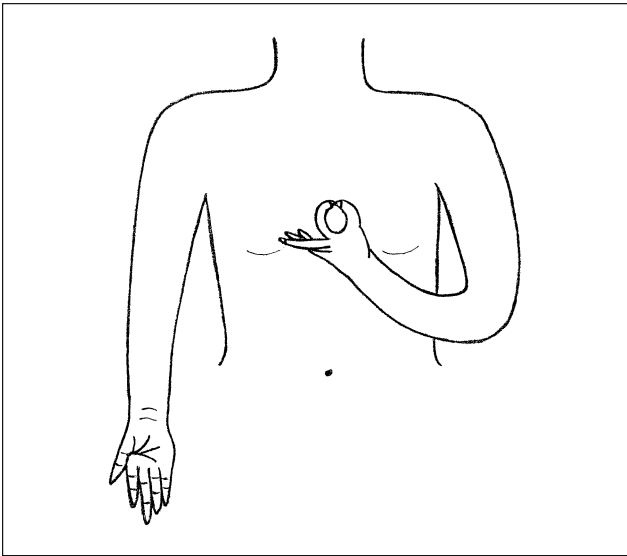
※平和に

在世中に自ら生じさせた因果関係と徳積みの有無が、神佛様により裁量される。そして、来世の運命が定められる。

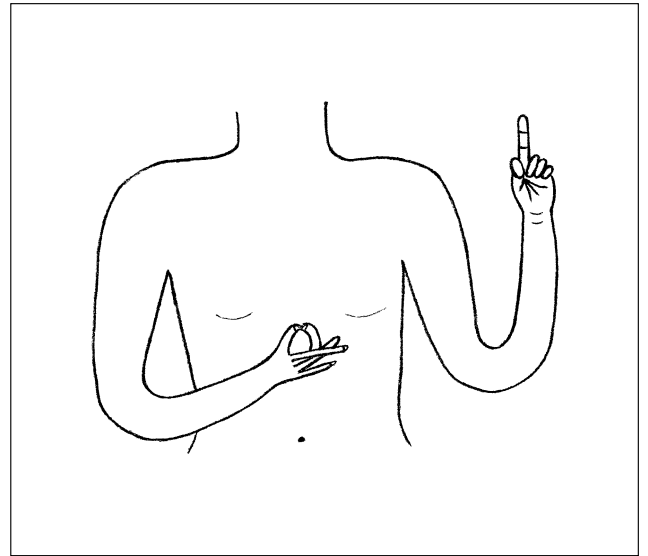
左手を内側に、右手は外側に重ねながら、左右親指で円を作り、腹部の中央に置く。

大悲咒⑥

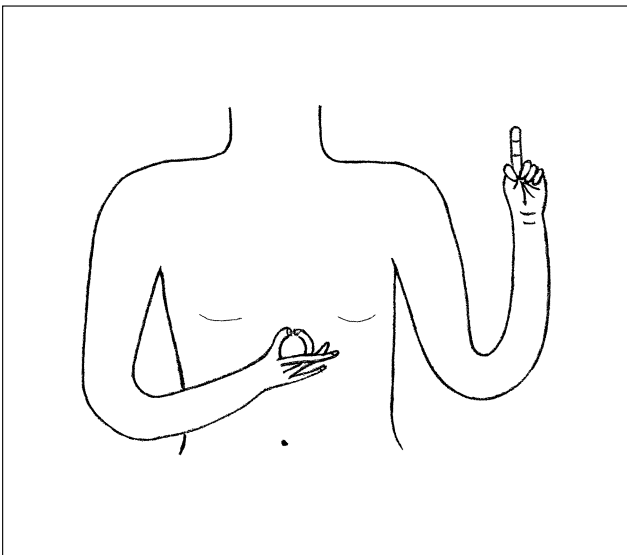
「ワーレー イティ ミリ チティ ツハラ マパ ナーヤ スーハー」



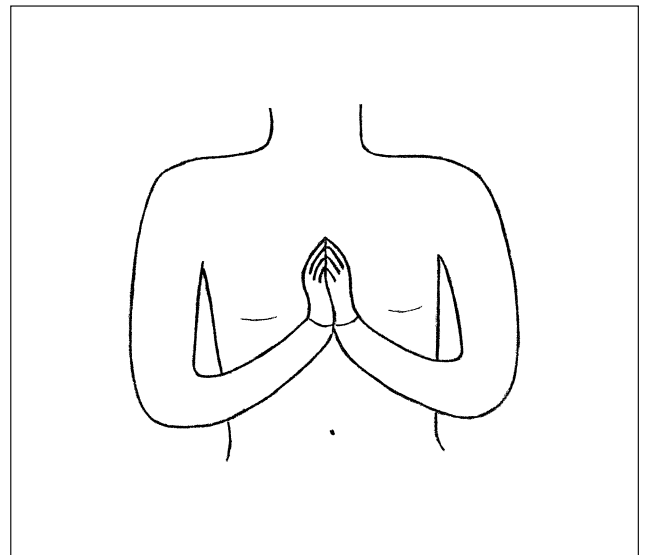
①真心で



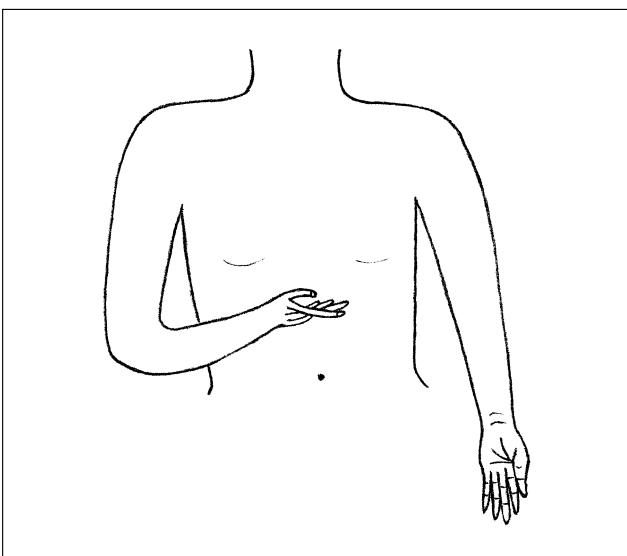
④道徳を



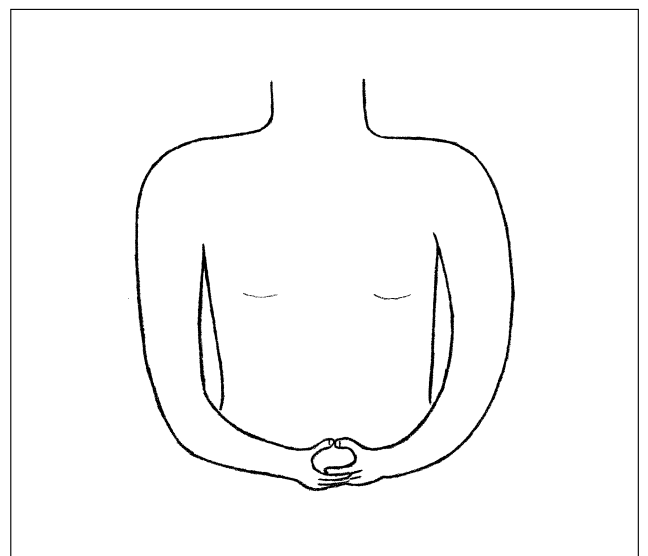
②天道に



⑤守る



③従う



⑥地球平和に

## ②宇宙を主宰する天の神・玉皇高上帝様

①人間が生まれってくる。人生のスタート。すでに運命が定められている。

①菩薩様…「心の導き」。心はすべてを語る。すべての事柄は心から始まる。心はすべてを導く。

③薬師如来様…人間の行いに警告を発する。天道・道徳に従えば無病息災となる。

④大地…太清・道徳天尊様…道徳を導き、因果関係を説き、掌る。

空…玉清・元始天尊様…この地球上の万事物を支配する。

海…上清・靈寶天尊様…この世のすべての魂を神佛様のところへ帰着する前に、看守する。

⑤観世音菩薩様…帰着した魂を点呼し、魂のケアをし、魂が裁量される上層へと送る。

⑥不須輪廻の層。人間の因果関係や功德の有無を裁量する神佛様…宇宙は魂の出発点。戻ってきた魂を裁量する。罪を償った魂の来世における干支を設定し、魂が再度人間界で修行できるように送り出す。

## 宇宙自然道理の法則には1つの基準があります。 この基準は数字で表すことができます。

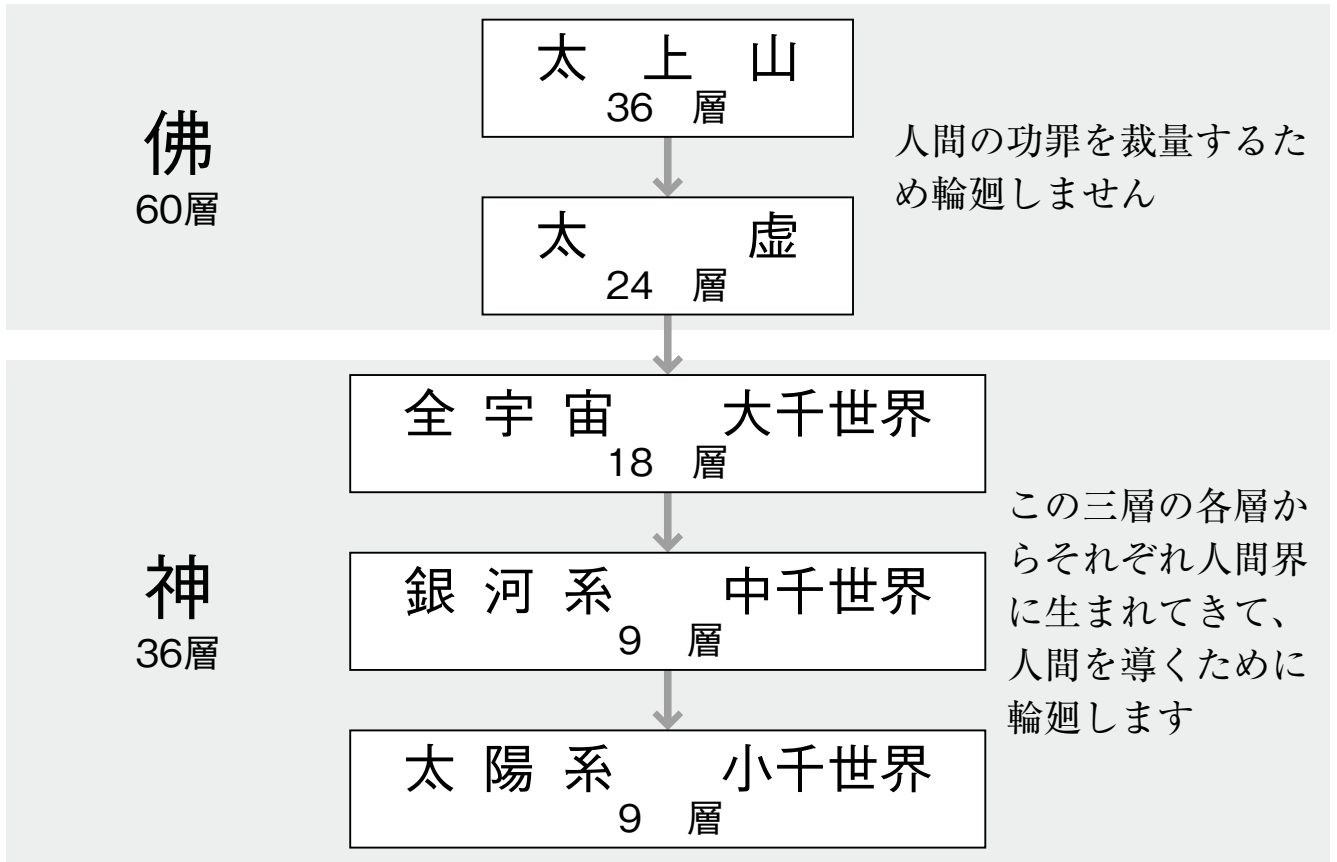
- 1、生物の体内にある水分の生命体超微粒子の波動から発せられるバロメーターは、様々な事柄をコンピューターのように記録します。記録するバロメーターグラフがあるのです。人間が、過去→前世、現在→現世、未来→来世を通して、人間修業中に行ったことは、その人の体内にある水分の生命体超微粒子波動バロメーターグラフに記録されます。そして、その記録されたものから、その人の日頃の行いによって生じた因果関係や功德等の有無が、神佛様に伝達され、裁量されます。その結果、罪があれば裁きを受けます。そして犯した罪を償ってから、因果関係を償うため、ご恩を返すために再び人間世界へと輪廻します。
- 2、人が生まれる前に、神佛様は生まれてくる人の年、月、日、時の干支を設計します。神佛様が設計された干支の通りに人は生まれてきて、それが今世での運命となります。そして来世の運命は、今世中に人間修行する行いによって決まります。人間は正心、正念、正言、正行の四正道に従わなければなりません、それは宇宙自然道理の法則の「天道」に従うことにもなります。これは自分の魂が成仏するためにすることです。
- 3、人の元神：「魂」の霊光体の量を増し、生命体超微粒子の波動を速くするには、常に自分の行いを正し、反省し、悟って道徳を守り、広い心で人を包容すること。真心で人に奉仕できること、功德を積みながら「天道」に従って歩むことです。  
元神（魂）が一層昇るには、1000億以上の霊光体の量が必要です。行いが劣ると霊光体の量が減り、生命体超微粒子の波動も弱くなって、上層へ昇れる力が欠けるため、苦しいところに停滞してしまいます。すると、因果関係を償えずに霊障が起こる運命も左右されて、さらに悪化し、事故や病に遭うことになるのです。
- 4、宇宙空間に有漏世界（須輪廻）、と無漏世界（不須輪廻）という2つの層があります。有漏世界は太陽系（9層）、銀河系（9層）、全宇宙（18層）の3層に分かれています。
- 5、元神（魂）がこの3層の各層から人を導いて、さらに魂が上層へ昇れるようにするために、人間世界で修業することや、因果関係を償うために、人間修行のために輪廻するのです。
- 6、人の体には元神と肉体が共存しています。元神は魔体、霊体、神体、佛体の4種類として現れます。人の元神は霊体として現れます。修行をすることによって、霊体から神体や佛体にもなれます。そのために厳しい人間修行を貫き、広い心で人を包容すること。真心で人に奉仕できること。正心、正念、正言、正行の四正道の道徳を守ること。宇宙自然道理の法則の天道に従うこと。皆が平和に暮らせるように優しく人を導くこと。人に対する思いやりを常に持つこと。そして功德を積みながら、善行を広めていくことが必要です。

7、良い行いや高い功德を積んでいる人は靈光体の量が多いですし、生命体超微粒子の密度も高いです。波動も速いので、上層で跳ね上がる力が強いので、上層へ昇れます。そうすると当然、靈格（人格）も高くなります。来世は良い運命になります。「功德は来世への貯金」といわれます。自分の来世への褒美を“無形銀行”（神佛様のところ）に預けること。そのために今世中に良い人間修行をすることです。来世において、少しでも良い人生を送れるように、貯金をする（功德を積む）ことが必要です。

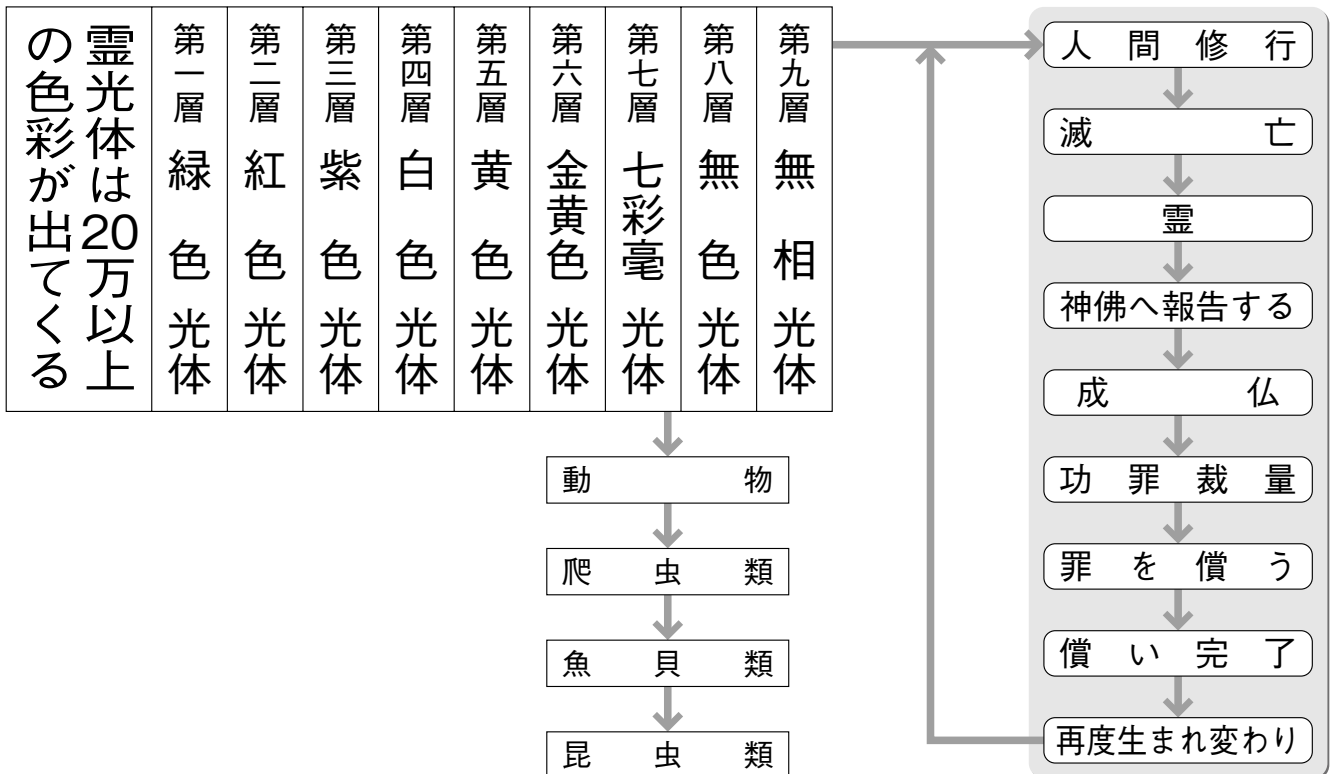
功德が少ないと来世で悪い運命となり、靈障が起こり、行いも劣るため、さらに因果関係が増えます。仕事も家庭もうまくいかず、病気や事故等に遭いやすく、いろんな悩みを抱え込むようになります。そうすると、安易に人を傷付け、道徳を守れないようなことをし、さらに苦しい人生になります。

とにかく、因果と輪廻を避けるには良い人間修行をすることです。自ら犯した罪に対して、自らで償うことも忘れませんように！

# 菩薩様

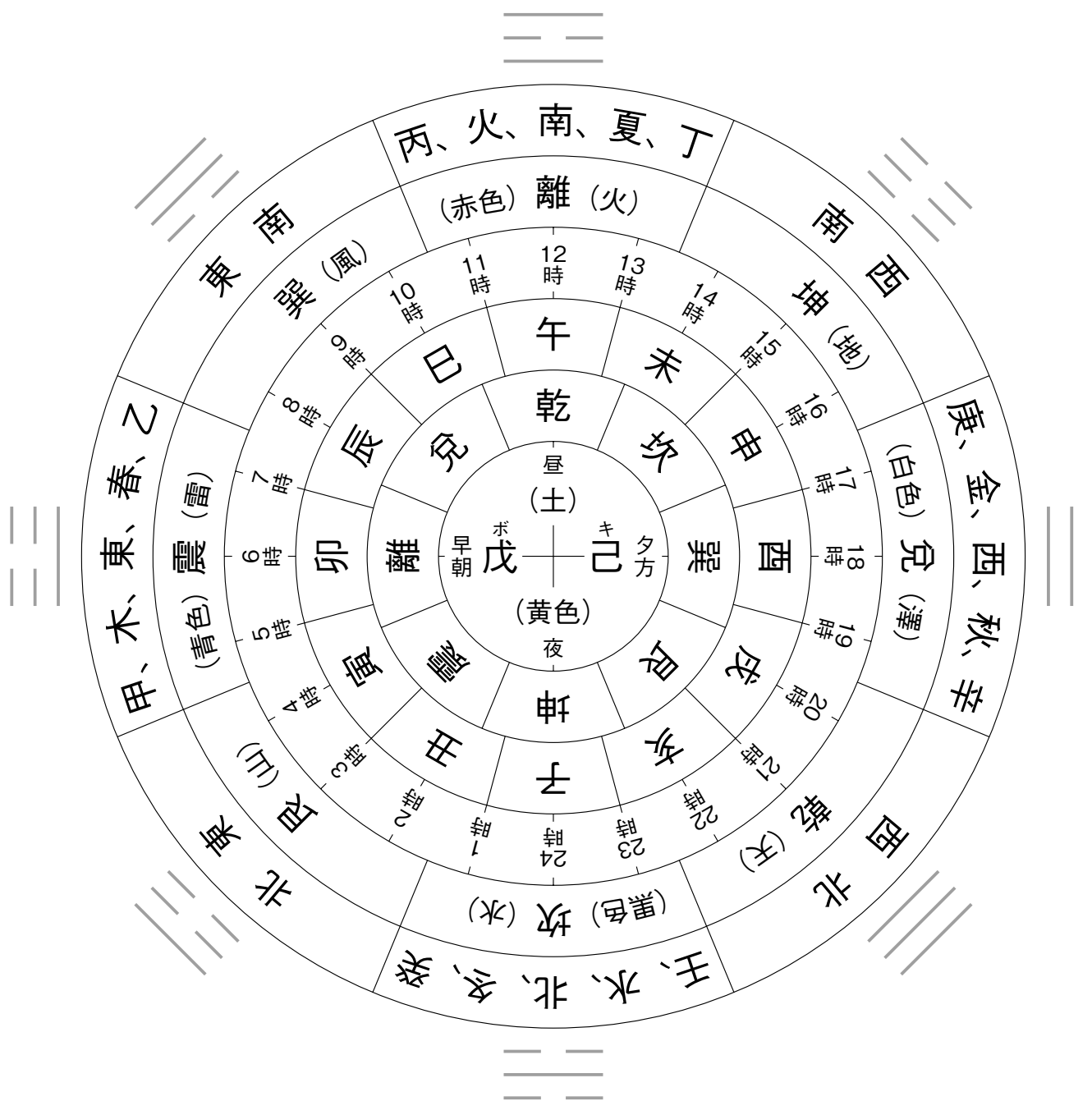


一層昇るには千億の靈光体を累積する必要があります。



生物が水によって生滅、輪廻することは宇宙自然道理の法則であり、天道です。

先後天の八卦、五行、十天干、十二支、季節、方位、色、時間等の配置です。



先天の八卦：乾 (天)。兌 (澤)。離 (火)。震 (雷)。坎 (水)。巽 (風)。艮 (山)。坤 (地)。

五行と色：木 (青色)。火 (赤色)。土 (黄色)。金 (白色)。水 (黒色)。

十天干と方位：甲、乙 (東)。丙、丁 (南)。戊、己 (中央に)。庚、辛 (西)。壬、癸 (北)。

十二支：子。丑。寅。卯。辰。巳。午。未。申。酉。戌。亥。



平成15年6月4日11時55分頃に立った玉子様の一番目の写真です。



平成15年6月5日、二日目



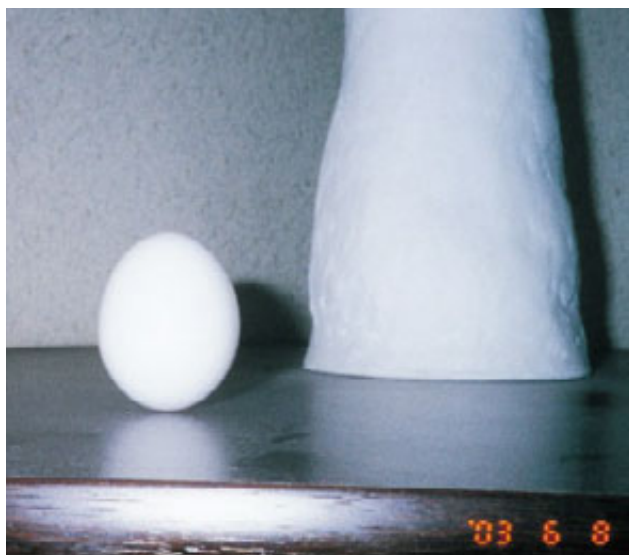
平成15年6月6日、三日目



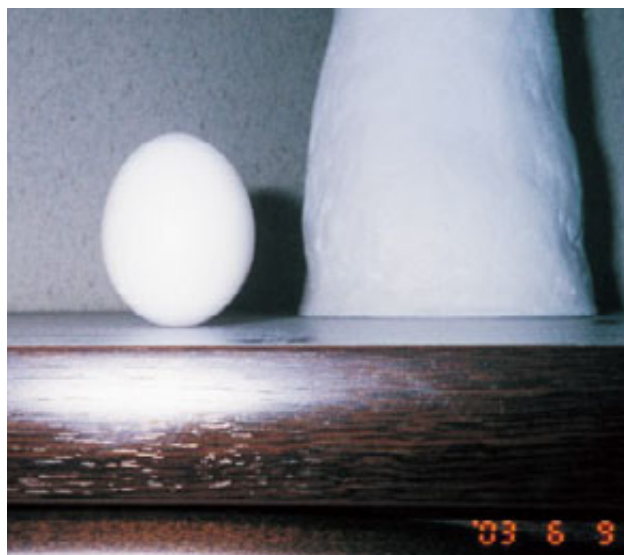
平成15年6月7日、四日目



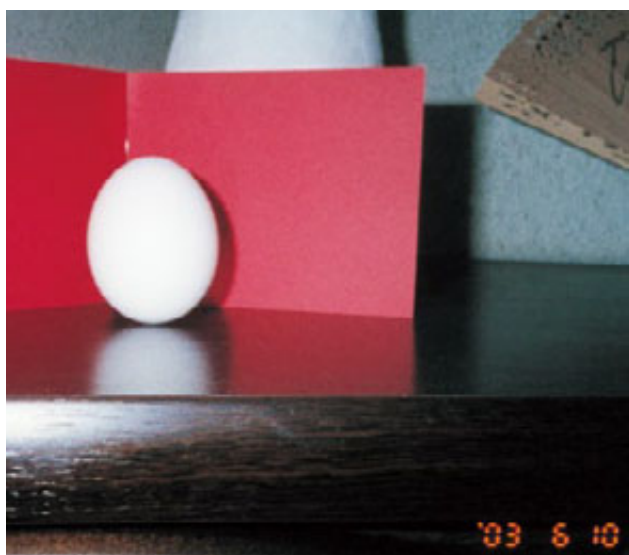
平成15年6月8日、五日目



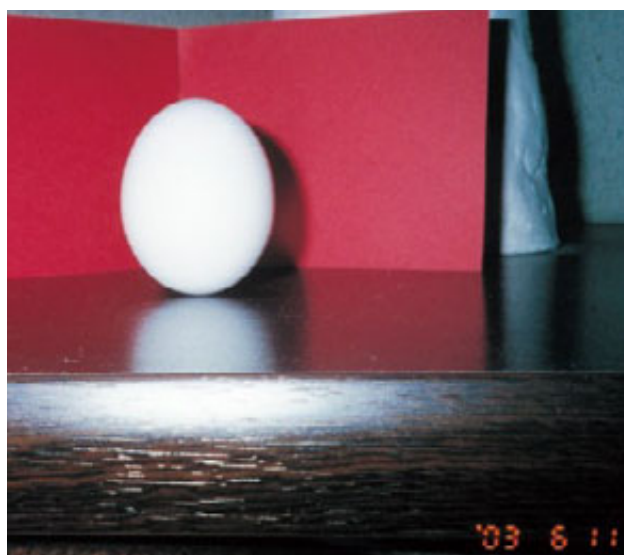
平成15年6月8日、五日目



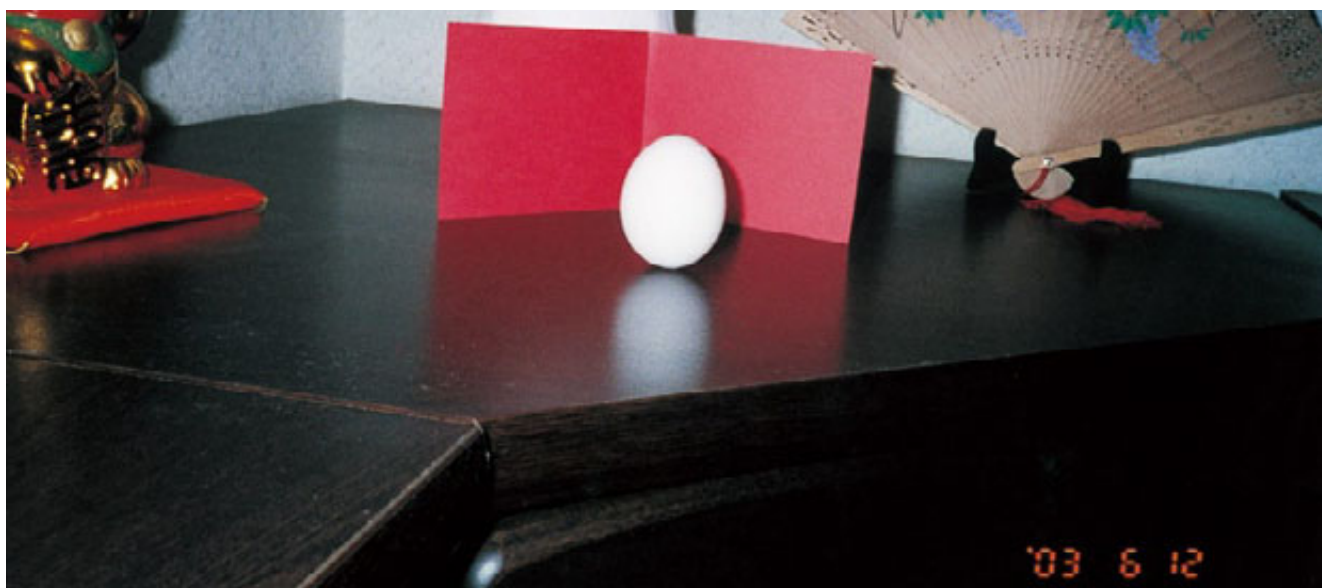
平成15年6月9日、六日目



平成15年6月10日、七日目



平成15年6月11日、八日目



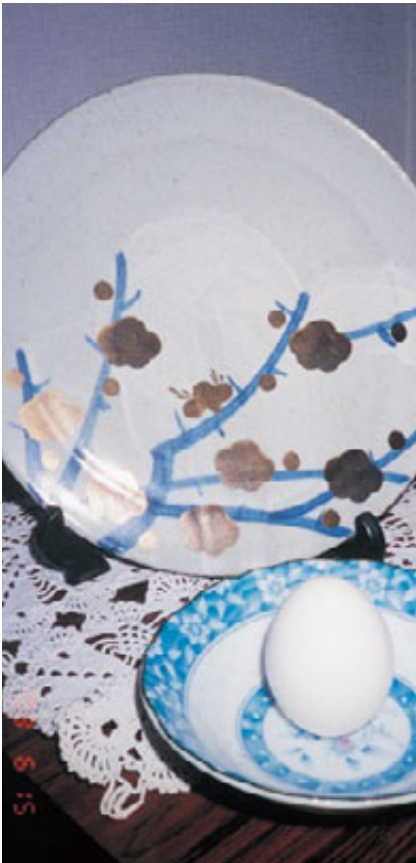
平成15年6月12日、九日目



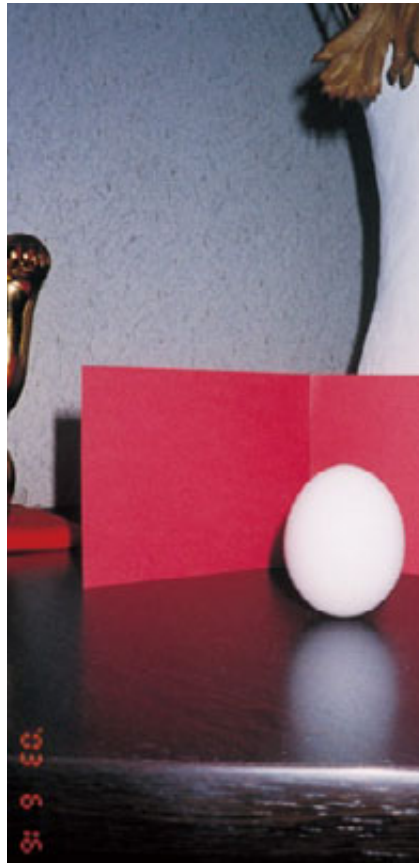
平成15年6月13日、十日目



平成15年6月14日、十一日目



平成15年6月15日、十二日目



平成15年6月16日、十三日目



平成15年6月17日、十四日目

# 途中省略

本編はダウンロード時間短縮のため省略版でお届けしています。  
途中省略なしの完全版をご希望の方は製品版をご「購読」ください。

## 著者プロフィール

### 真如 意應 (しんにょ いおう)

本名・キミヤヒデコ

1953年生まれ。

1972年、商業学校卒。

2000年、エステの仕事をやめる。

2003年1月29日、三清道祖（さんせいどうそ）様の御宮に初めて参拝。

2003年6月3日、同宮の宮主様から「明日（旧暦5月5日端午の節句の日）の正午前後に生玉子を立てると、神様と縁がある人は立ちます」とお導きをいただき、玉子を立たせた。すると、生玉子は地震があっても立ち続け、結局、422日間腐ることもなく立ち続けた。

2005年7月頃から、生玉子様のおかげで易経を研究し始める。

神佛様の意向を受け生玉子が422日間も立ち続けた！

## 神佛様の意向を受け生玉子が422日間も立ち続けた！

---

2006年10月15日 電子出版発行

著者 真如 意應

発行者 瓜谷 綱延

発行所 株式会社文芸社

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-10-1

電話 03-5369-3060（編集）

03-5369-2299（販売）

<http://www.boon-gate.com>

©Shinnyo Io 2006 Corded in Japan

ISBN4-286-01774-5

(文芸社発行の通常書籍（紙の本）については、全国書店でお尋ねいただくか、「文芸社ON-LINE」サイト、<http://www.bungeisha.co.jp> を御参照ください。)

新 06.10.03 Y.H.